

令和7年度 織物研修（通年）※技術経験者対象	
目標	伝統織物の基本技術、応用技術を習得する。
講師	25年以上の沖縄織物技術、事業歴（または同等の技能）を有する熟練技術者
定員数	4名
研修期間	4月中旬～翌年3月中旬（※5日/週：火～土曜日、※日・月・祝日、慰靈の日、12/29～1/3は休み）
研修時間	9時15分～17時15分
場所	おきなわ工芸の杜内 織物共同工房（所在地：沖縄県豊見城市豊見城1114番1）

年間カリキュラム

項目	科目	内容	日数 (目安)
伝統織物の知識	糸（繊維）、染料、顔料	天然繊維（絹、苧麻、芭蕉、木綿）、天然染料、合成染料に関する知識を習得する。	30
	織道具	ふわり、座繰り、整径台など手道具に関する知識を習得する。	
	織組織	沖縄の伝統織物の特徴、県外他産地の織組織の概要に関する知識を習得する。	
	製品計画	図案、組織表など、織物制作に要する工程計画を習得する。	
【課題制作】 伝統織物	【帯（半幅、九寸）】	全通、六通、たいこ柄の課題について、沖縄の伝統織物技法である絣または紋織の技術を選択して制作する。	155
	【着尺】	総柄、小紋、絵羽の課題について、沖縄の伝統織物技法である絣または紋織の技術を選択して制作する。	
	糸の扱い	・絹、木綿、麻の精練、整経など	
	染色	・植物染料のデータシート作成 ・化学染料のデータシート作成 ・琉球藍建て、糸染め	
	経・緯紡	糸を染め分け、文様と柄を表現する技法 ・絵図式 ・手結式	
	絹織	絹糸と緯糸の重なりで文様と柄を表現する技法 ・花織（両面浮き、緯浮き） ・ロートン ・グーシ花 ・手花	
	絣	・縦横紡	
	【選択制作】 技術の応用	【その他】 ショール、のれん、ティサージ、ウエアなど、縫製二次加工を含むオリジナル作品を考え、制作を行う。	
	アイディア出し、デザイン 糸の準備、染色 織り 仕上げ	アイディア出し、デザイン 糸の準備、染色 織り 仕上げ	
	座学	工芸概論、工芸とデザイン、伝統文様、マーケット	
多様な知識	外部講師講習	琉球藍建て、絵羽、和裁、絣、スケッチ	18
	専門講習	琉球、伝統織物の歴史、概況 工芸材料、製品評価、企画・表現	
	現地実習	原材料調査、文化施設など訪問	
	工房訪問、催事視察	織物組合、織物工房	
	交流	異分野工芸、レクリエーション	
	展示企画	画像撮影、ディスプレイ、説明 中間報告会、成果展ほか	
	入所式・修了式など		
		日数 224	1